

古くから季節の移ろいの目安とされてきたものに、「二十四節気(にじゅうしせっき)」があります。今月、10月には「寒露(かんろ)」と「霜降(そうこう)」という、秋の深まりを感じさせる二つの節気があります。「寒露」は空気が澄み、朝露が冷たく感じる季節を表し、更に秋が深まる「霜降」は朝晩が冷え込み、霜が降りだす季節を表しています。

残念なことに、温暖化が進む現在では、なかなか秋に霜をみる機会も少なくなってきましたが、言葉に季節の移ろいを表すことができるのは、日本の魅力的な文化の一つだと思います。

さて、「霜」のほか、秋の深まりとともによく見られるものに「霧」があります。伊賀盆地特有の気候と地形により霧深い土地でもあり、濃霧になると朝の9時を過ぎてもスッキリ晴れないことも珍しくありません。

夜間早朝に外出される場合や、朝の通勤通学時は、みなさん十分お気をつけください。



喫茶店の味 — なしのき喫茶 —

暑さも残る9月初め、「なしのき喫茶」を開催しました。今回は、涼し気なメニューを楽しんでいたかどうか、「冷やしぜんざい」、「プリンアラモード」、「クリームソーダとミニブッセ」の中から、好きなものを選んでいただきました。準備当初は「クリームソーダ」のアイスクリームが早く溶けることが課題でしたが、生クリームの上にアイスを重ねる工夫をしたことで、溶けにくい見た目も綺麗な「クリームソーダ」が完成しました。

ご利用者からは、「懐かしい！喫茶店で飲んだきり。久しぶりに飲めてよかった。」、「緑の見た目が爽やかで涼し気ね！」、「プリンアラモードが豪華でお腹いっぱい。大満足です。」と好評でした。



敬老週間～鶴は千年、亀は万年～

敬老の日である9月21日から始まる週を「敬老週間」とし、ご利用者みなさまの健康長寿と益々のご活躍を願い、職員による「マジックショー」や「モノマネ」を楽しんでいただきました。その後、秋にちなんだ童謡や懐かしの歌謡曲を皆で元気よく歌いました。

みなさま、どうかこれからもお元気にデイサービスにお越しください。



職員の入った箱に
剣を突き刺すと…



敬老の日祝い膳



なんと！「ちあきなおみ」が！



夏休み福祉体験教室

少し前の話題となりますが、8月19日に、「夏休み福祉体験教室」として、小学2年生の男の子が体験に来てくれました。

ご利用者の方々にとっては、まるでひ孫さんのような元気いっぱいの男の子の来訪を受け、終始にこやか笑顔あふれる一日となりました。

